

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月24日

事業所名 多機能型障がい福祉サービス事業所あつぷ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	0	公園等戸外での活動を取り入れる事で、より広いスペースでの活動もできるようにしている。	
	2 職員の配置数は適切である	2	1	0	状況に応じて他部署の職員も協力をしている。	職員の配置基準は満たしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	3	0	現在必要に応じて個別に対応している。	スロープの設置を検討している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	0	事業所全体の朝礼と部署ごとの話し合いの時間を設けて毎年アンケートを実施し、保護者の意向を確認している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	0	HPで掲載している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	2		第三者委員会の設置はあるが、定期開催の会議への参加はなかった。今後は参加の依頼をしていく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	0	外部の研修も必要な職員が受けられる。	事業所内で毎年全体研修を実施している。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0	保護者・関係機関と連携を図り情報共有しながら作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	0	児童と一緒に希望を取り入れながら一月の活動計画を立てている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	0	必要に応じて活動プログラムの見直しを行っている。	活動プログラムの見直しを定期的に行い、研修で得た内容や児童の意見などを取り入れながら考えていくようにする。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	0	全体朝礼を通して他部署とも情報共有を行っている。	朝礼に参加出来ない職員へは、連絡ノート等を活用し情報の共有が行えるようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	0	送迎後に、支援の振り返り、児童の様子、保護者から話等について情報共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0	職員間で状況を確認しながら記録を残し、曖昧にならないよう心がけている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	0	定期的なモニタリングの他、必要に応じ相談員・学校・行政と連携を図り見直しをしている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	3	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	3	0	0	保護者だけでは なく、学校(担任・ 事務)と連携を 取って行ってい る。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	3	0	必要がある場に 連携を取れる体 制にしている。	現在該当児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	1	0		現在該当児はいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3	0	0	卒業後に利用予 定の事業所と連 携を取っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	2	0	ZOOMIによる研 修に参加してい る。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	1	公園等で地域の 児童と交流をし ている。。	下校時間の兼ね合い等で、年少児が主にな っているため、長期休暇等を利用し他の 児童にも交流の機会を設けられるようにして いく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	2	0	必要な児童に関 して会議を実施し ている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	3	0	0		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	1	2	0	保護者からの困り ごとに対し支援の 提供を行っている。		
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	3	0	0	支援の提案やサ ポートを行ってい る。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	0	2		現在実施していないが、保護者の要望を確 認し検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	3	0	0		体制整備は出来ている。 現在苦情等はない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	2	1	0	活動予定表の配 布をしている。	現在、長期休暇についての活動予定表は配 布しているが、毎月の予定をホームページ やInstagramで公表する予定である。
	35	個人情報に十分注意している	3	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関わった事業運営を図っている	1	0	2		個人情報等の理由で積極的招待して行うような 行事は行っていないが、見学等の希望があれば 受けている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	0	BCPマニュアルを作成しており、委員会の設置をしている。	BCPマニュアルについて周知の為の研修の日程を調整している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0	年に2回避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	0	委員会を設置しており定期的に会議を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	1	2	身体拘束に関するマニュアルを作成している。委員会も設置しており定期的に会議を行っている。	現在該当児童はいない。 身体拘束に関する指針やマニュアルについての説明を行う予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	0		現在該当児童はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0		